

# 令和4年度 ゆいの杜小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

### (1) 基本目標

豊かな関わりを生かして、よりよく生きる子供を育む

### (2) 目指す子供像

- 学ぶことを喜ぶ子供 (知)
- 他と豊かに関わる子供 (徳)
- 自分を大切にすること子供 (体)

学校の合言葉 笑顔いっぱい 友だちいっぱい みんな大好き ゆいの杜小

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「未来に向かって、共に学びをつくる学校」

- 様々な人との関わりを通して、自分の学びをつくる学校
- 教職員一人一人が力を発揮できる学校
- 地域と共に子供を育む学校

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 夢の実現に向けて主体的に取り組む児童の育成
- (2) 教職員の資質向上及び働き方改革の推進
- (3) 地域とともにある学校づくりの推進

[清原地域学校園教育ビジョン]自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage ～人との豊かな関わりを通して～

## 4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則、小学校学習指導要領、並びに県の方針や「第2次学校教育推進計画（うつのみやいきいき学校プラン）」・「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」・「清原学校園教育ビジョン」に基づき、創意ある教育課程を編成する。
- (2) 本校教育目標・経営方針や努力点・学校課題等を踏まえ、児童の実態・特性、学校の施設・設備、職員組織の実態等を十分考慮して、心豊かでたくましく生きる児童の育成を目指して編成する。
- (3) 新学習指導要領及び宇都宮市小中一貫教育の趣旨を生かし、確かな学力を身に付けるための適正な時数の確保に努める。また、新学習指導要領における「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を一人一人の児童が確実に身に付けられるようにすることを目指して編成する。
- (4) 各教科・道徳・総合的な学習の時間等、相互の関連を図った系統的・発展的な指導を心掛け、児童の自主的・実践的活動や体験的な活動を多く取り入れた特色ある教育活動が展開できるよう編成する。なお、「社会に開かれた教育課程」の観点から地域等の意見の反映にも努めたい。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### 【 学 校 運 営 】

- ・教職員がチームとして諸問題に取り組むことによる、教育活動の質の向上
- ・業務の明確化やICT機器の活用等による業務の改善
- ・地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進

### 【 学 習 指 導 】

- ・豊かな関わりを生かしながら、学びを喜ぶ児童の育成  
～コミュニケーション力を育成するための指導の工夫～

### 【 児 童 生 徒 指 導 】

- 相手に自分の思いを伝え、積極的に関わり合える児童の育成  
～人とのつながりを大切にする、あいさつ運動や集会活動等の充実～

### 【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自らの健康・体力の維持向上に関心をもち、生涯にわたって健康で安全な生活をしようとする児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
指 す 児 童 の 姿	<p>A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のねらいを明確にして児童に示すとともに、考える時間を確保したり授業形態を工夫したりして、児童が積極的に授業に取り組めるよう支援する。</li> <li>・高学年における教科担任制や道徳科のローテーション授業を実施し、複数の教職員が児童一人一人の頑張りや良さを積極的に認めたり称賛したりすることで、児童が自信を深め、意欲的に学習に取り組めるように支援する。</li> <li>・学校課題のコミュニケーションを身に付けるための指導の在り方を研究し、コミュニケーション力を伸ばす手立てを広げる。</li> </ul>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動や学校行事などに縦割り班活動を取り入れ、上級生が下級生に関わる場を積極的に設定する。</li> <li>・道徳科の授業と他教育活動との関連を図り、思いやりのある豊かな心情を育む。</li> <li>・日常生活の中で、児童の親切な行動を称賛したり、紹介したりしていく。</li> <li>・思いやりと感謝についての生活目標を設定する回数を増やし、児童への意識付けを行う。</li> </ul>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答85%以上</p>	<p>○「ゆいっこの約束」を活用し、望ましい行動習慣の形成を促すとともに、よくできたことについては積極的に称賛し、児童の意欲を喚起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標との関連を図って週の生活目標を設定し、児童の実態や時期に応じた基本的な生活習慣（重点目標）の徹底を図るとともに、保護者の協力を得る。</li> <li>・生活のきまりを定期的に振り返りながら、児童の実態を捉えるとともに、学年やクラスの実態に応じて重点的に指導する。</li> <li>・児童の望ましい行動やよくできたことを称賛する機会を日常的にもつ。</li> </ul>		<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>目 指 す 児 童 の 姿</p>	<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>○常時指導を強化するとともに、児童会主体の「あいさつ運動強化週間」を実施する。また、清原地域学校園、地域協議会、PTAと連携・協力してあいさつ運動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が率先してあいさつし、児童へのあいさつ意識を高める。</li> <li>・保護者や地域に運動の様子をHP等で発信し、あいさつの励行等を保護者・地域と共に行い、連携・協力の輪を広げていく。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や児童会活動、学級の係活動において、児童が主体的に活動できる場を随時設定し、個人や集団で目標達成に向けて根気強く組めるよう支援する。</li> <li>・学び合う場や協力し合う場を意図的に設定し、共に高め合い、励まし合いながら学習に取り組むことができるよう支援する。</li> <li>・コロナ禍の中で学習や学校行事等において、目標を明確にし、ゴールを意識させることで、児童が見通しをもって努力し続けることができるようにする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だより、保健だより等を活用し朝食の大切さや偏食について、保護者へ啓発を図る。また、「朝ごはん食べよう週間」を設定し、望ましい食生活の習慣化を図る。</li> <li>○「キラキラウィーク」を実施し、児童の歯磨きと朝食に関する実態の把握と啓発を図る。</li> <li>・登校班長会議や登下校指導、休み時間の生活指導を行い、事故の未然防止を意識させるとともに、自ら安全に生活しようとする習慣を身に付けさせる。</li> <li>・避難訓練や交通安全教室など、交通や災害に対する安全教育を強化するとともに、「ゆいっ子の約束」を活用して日常の生活の中の危険について学年に応じて丁寧に指導する。</li> <li>・学校生活の中の危険について職員であらかじめ共通理解を図りながら、児童の指導にあたる。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 児 童 の 姿	<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 ※A5で評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や児童会活動、学級活動、クラブ活動において、児童一人一人が自分の役割を果たせるようにするとともに、活動を振り返り、今後の生活に生かせるよう支援する。</li> <li>・「結ゆいプロジェクト」を推進するとともに、道徳科や学級活動を通して、自他の良さが認められる場面を設定し、児童の自己肯定感や自己有用感を高める。</li> <li>・ローテーション道徳により、他学級の児童の良さを教員同士で共有したり、キャリアパスポートを活用して、児童に自分の夢と向き合うきっかけを作ったりする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTを効果的に活用し、英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。</li> <li>・ALTによる読み聞かせ等を実施し、授業以外にも英語に親しめるよう努める。</li> <li>・英語専科教員が中心となって、校内研修を開催し、教職員の資質向上を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「宇都宮学」を中心に、継続して、宇都宮市全体や他地区との比較検討をすることで本地区への理解を深める。</li> <li>・清原・ゆいの杜の地区の協力を得て、地域のよさを学習する機会を設ける。</li> <li>・学年便りや学校便り、学校ホームページ等を利用して、児童が宇都宮についての学習を行っていることを周知していく。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科、領域において、一人1台のタブレットを効果的に活用した授業を発達の段階に応じて継続的に実施する。</li> <li>・プログラミング教育において、児童にパソコン活用に対する必要性の意識を高めていく。</li> <li>・担任と学校図書館司書が連携を深めながら、各教科の調べ学習において、学校図書館の積極的な活用を図る。</li> <li>・図書とタブレットのどちらも活用できるように、意図的に調整する。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 児 童 の 姿	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ※A2で評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら昔遊びや出前講座等、高齢者と触れ合う機会を設定し、交流を図る。</li> <li>・行事に関わっていただいたボランティア等の活動をHP等で情報を発信していく。</li> <li>・ボランティアで支援を受けた体験を振り返り、感謝の気持ちを手紙で書く機会を設けるとともに、教職員が高齢者を意識した声掛けなどを行っている。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間の学習を通し、身近な自分の生活と持続可能な社会との関わりを考えさせるなどして、福祉や環境、異文化交流への関心を高める。</li> <li>・生活科や理科、道徳の授業、委員会活動を通して、環境保全に目を向けたり動植物を思いやる心を育てたりする。</li> <li>・学校図書館司書と連携し、「持続可能な社会」についての資料を把握しておき、指導に生かせるようにする。</li> <li>・環境委員会の活動内容を状況に応じて、幅を広げていくとともに、「持続可能な社会」や「SDGs」についても発信していけるようにする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B1 児童は家庭学習の習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>○「清原っ子の約束」「ゆいっ子の約束」「家庭学習のすすめ」を活用したり、「家庭学習ふり返り週間」を年2回設定したりして、家庭学習の重要性について保護者への啓発を図り、指導の効果を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動で家庭学習の仕方を指導し、目安となる時間や内容を提示したり、実践している児童を称賛したりして、児童が家庭学習に取り組もうとする意欲を高める。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内支援委員会を通して教職員間の情報共有を図るとともに、学級や学年間の情報交換を密にして広く児童理解に努め、組織的に児童の支援に当たる。</li> <li>・ケース会議や教育相談の充実を図り、児童一人一人のニーズや悩みを把握し、関係機関との連携を図りながら、個に応じた支援を展開する。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめに関するアンケートや教育相談を有効に活用し、事実の把握に努めるとともに、いじめは許されない行為であることを徹底指導できるよう、様々な機会を生かして継続的な指導を行う。</li> <li>・道徳科において、いじめに関わる授業の充実を図るとともに、児童の小さな変化にも気を配ることで、いじめの早期発見、早期対応に努める。</li> <li>・スマートフォンや携帯電話の使い方等については、各学級、学年において実態に応じた指導を行う。</li> <li>・いじめに関する情報交換を常時行い、迅速に組織的に対応できるよう、全教職員が報告・連絡・相談を確実に行う。</li> <li>・いじめゼロ強調月間の活動等、学校での取組を児童指導だより等で、保護者に発信していく。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が存在感をもち、自己実現の喜びを実感できる学級経営を実践する。</li> <li>・「結ゆいプロジェクト」を推進し、様々な人との関わりを重視し、良好な関係を築く。</li> <li>・ケース会議や教育相談の充実を図り、児童一人一人のニーズや悩みを把握し、関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた支援をする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 ※A13で評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語ボランティアを活用し、個に応じた日本語指導を充実させる。</li> <li>・日本語指導での学びが学級内で生かされ、当該児童の学校生活の充実につながるよう、担任との連携を密にする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑顔いっぱい 友だちいっぱい みんな大好きゆいの杜小」の合言葉の浸透を図り、活気のある学校づくりを進める。</li> <li>・HPや学校だよりを通して、学校の取組を保護者や地域に情報発信し、理解と協力を求める。</li> <li>・共遊・児童会集会活動・縦割り班活動等を工夫、改善しながら、児童が生き生きと活動する教育活動を展開する。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 児 童 の 姿	<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で授業の進め方、課題の明確な提示、板書の仕方等の共通理解と共通実践に基づき、日々の授業の充実を図る。</li> <li>・朝の「学習タイム」を活用し、課題の質・量・手立て等を工夫しながら基礎学力を確実に定着させる。学年で計画を立てて、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・教科担任制により、専門的な見地から授業の質を高める。</li> <li>・専科や特別支援教育担当と情報交換を密にしながら共通理解を深め、個に応じた学習指導の充実を図る。</li> <li>・学校ホームページ等を利用して、一人一授業や板書の様子を公開する機会を多くする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や授業の準備等、学年や分掌内の役割分担を的確に行い、連携を密にして教育活動を行う。</li> <li>・かがやきルーム指導員、学校図書館司書、日本語ボランティア、SC、ALT等と積極的に情報交換を行い、教育活動が効率的に機能するよう取り組む。</li> <li>・校務分掌や学習指導、児童指導等において、OJTを実施していく。</li> <li>・個々の役割と責任を明確にした上で、主務者の負担軽減をするために、複数の担当職員が確実な業務分担をして相互に協力しながら業務を行う。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「働き方改革プロジェクト」の検討を踏まえ、取組を着実に実施し、業務の効率化を図る。</li> <li>・優先順位を付けて業務に当たるなど、個々の教職員の取組を継続する。</li> <li>・リフレッシュデーを毎月設定し、着実に実行する。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6年児童の進学先中学校訪問、児童生徒指導強化連絡会を通して、小中学校の情報交換を密に行うことで、6年児童の中学校進学をスムーズに行う。</li> <li>○地域学校園の各部会の検討を通して、小中学校の教職員が目標を共有しながら取組を進める。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目 指 す 児 童 の 姿	<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材や企業等の出前授業を効果的に取り入れたり、地域の幼稚園、保育園との交流を実施したりするなど、専門的、体験的な学習活動を行う。</li> <li>・地域協議会やPTA常任理事会等と連携し、ボランティアの協力を効果的に得ながら教育活動の充実を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ※A22で評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会を中心に、学校・家庭・地域が一体となって、児童の安全確保や健全育成の取組を更に強化する。</li> <li>・地域コーディネーターを通して、保護者・地域・企業等と連携したり、学校支援ボランティアを活用したりしながら授業や学校行事における教育活動の充実を目指す。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 教職員・保護者の肯定的回答90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の安全点検を着実に実施し、危険箇所を発見した場合は速やかに修繕する。</li> <li>・各種、学校の行事を実施する際には、来校された方々の安全にも配慮するなど適切な環境づくりに努める。</li> <li>・校内や学校周辺で危険が予想されるときには、メールや学校だより等により周知を図るとともに、学校の取組を積極的に発信する。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 ※A10で評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンやデジタル教材等、ICT機器の整備に努めるとともに、授業研究会を通し、教職員の指導力向上を図る。</li> <li>・導入された一人一台タブレットを用いて、互いの意見を交流させるなど、発達段階に応じた活用法を模索していく。</li> <li>・教科書の内容に沿った資料をそろえ、授業に対応できるよう蔵書整備を行う。全職員が幅広い資料を選択できる環境づくりを行う。</li> <li>・6年間を通して「読書記録」を記入し続けることで、自身の読書傾向を知る手掛かりにし、読書の質を高めていく。</li> <li>・教職員で選定した必読図書を学級文庫に置くことで、児童が多くの方の分類の図書に触れ、興味に偏りがでないようにする。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>



	<p>B2 教職員は学校課題に関する研究やカリキュラムマネジメントに取り組み、児童のコミュニケーション力を身に付けようとしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校課題に基づいて、研究のねらいを明確にしながら協働的に研究を進める。</li> <li>・一人一授業を公開し、児童の学びの姿を参観し合い、指導法について意見を交わすことによって授業改善に努める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。</li> <li>・学校課題の研究を深めることで、コミュニケーション力を伸ばしていく。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
本校の特色・課題等	<p>B3 教科担任制によって、児童への教育効果を上げようとしている。</p> <p>【数値目標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する教材研究を深め、専門的見地から授業改善に努める。</li> <li>・教職員間で児童の学習や生活に関する情報交換を密に行う。</li> <li>・児童の興味関心や良さをき出した授業展開を実践する。</li> <li>・HPや学校だより・学年だよりに教科指導の情報を掲載し、教科担任制についての情報発信に努めていく。</li> </ul>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B4 学校は、児童が人と関わり、豊かな人間関係づくりのできる教育活動を推進している。</p> <p>【数値目標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「結ゆいプロジェクト」を推進し、児童一人一人が人との関わりを意識し、めあてをもち、充実感や達成感を味わえる取組を積極的に行う。</li> <li>・縦割り班活動や異学年交流の充実を図り、互いを認め、互いを大切にする心を育てる。</li> </ul> <p>【清掃、レインボータイム等】</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。